

令和6年度

公務員特別科
教育課程

専修学校熊本壺溪塾

1.学校の教育目標

教育基本法第1条の精神に則り、高い知性と美しい人間像の完成をめざして、教養の向上を図り、公務員試験合格の実を上げるとともに、将来、社会に貢献する公務員として活躍する素地を作ることを目的とする。そのために、塾生全員に基礎能力試験（教養試験）、適性試験、専門試験、作文試験、面接試験のいずれにおいても3分の2の得点を達成させ、1次合格及び2次合格を実現することを目標とする。

2.指導計画

前期…4月～9月	後期…11月～翌年2月	10月…面接対策期
(1) 1年次前期	[基礎力養成期+実力練成期] 教養・基礎能力試験・適性・専門試験・作文・面接試験で高得点を獲得するための授業や指導を行う。また、公務員の職業理解のための説明会も定期的に行う。	
(2) 1年次後期	[前期復習+応用力練成期] 教養・基礎能力試験・適性・作文・面接試験で高得点を獲得するための授業や指導を行う。また、公務員の職業理解のための説明会も行う。 公務員を志す者として、全体の奉仕者としての自覚を向上させるために地域ボランティアも行う。 教養・基礎能力試験・適性・専門試験・作文・面接試験で高得点を獲得するための授業や指導を行う。また、公務員の職業理解のための説明会も定期的に行う。	
(4) 2年次後期	[公務員としての実力養成期] 日本国憲法、国家公務員法、地方公務員法、政治学、行政学、会計学、国際政治学、国際経済学、地域経済、地域ボランティア、職場訪問、卒業研究などを通して、公務員を志す者としての基礎知識や技能を習得させる。	

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

令和6年度 公務員特別科

期間	科目名	単位時間数
1年前期	面接・公務員仕事探求Ⅰ	28
2年 前期	面接・公務員仕事探求Ⅱ	28
2年 通年	公務員コモンセンス・卒業研究	30
合計		86

授業科目等の概要

公務員特別科 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			政治Ⅰ	公務員試験に出題される政治について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			経済Ⅰ	公務員試験に出題される経済について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			社会時事Ⅰ	公務員試験に出題される社会時事について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			政治演習Ⅰ	政治Ⅰの学習進度に合わせて定着を確認するための演習を実施する。	1前	15	1	○			○		○		
○			倫理公共Ⅰ	公務員試験に出題される倫理社会について学び、演習により定着を図る。	1前	15		○			○		○		
○			地理Ⅰ	公務員試験に出題される地理について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○			○	
○			日本史Ⅰ	公務員試験に出題される日本史について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			世界史Ⅰ	公務員試験に出題される世界史について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			数学Ⅰ	公務員試験に出題される数学について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○			○	
○			資料解釈Ⅰ	公務員試験に出題される資料解釈について学び、演習により定着を図る。	1前	15	1	○			○			○	
○			物理・化学Ⅰ	公務員試験に出題される物理・化学について学び、演習により定着させる。	1前	15		○			○			○	
○			生物・地学Ⅰ	公務員試験に出題される生物・地学について学び、演習により定着させる。	1前	30	1	○			○			○	
○			文章理解 英語Ⅰ	公務員試験に出題される文章理解英語について学び、演習により定着させる。	1前	30	1	○			○			○	
○			文章理解 国語Ⅰ	公務員試験に出題される文章理解国語について学び、演習により定着させる。	1前	30	1	○			○		○		
○			判断推理Ⅰ	公務員試験に出題される判断推理について学び、演習により定着させる。	1前	60	3	○	○		○		○		
○			数的推理Ⅰ	公務員試験に出題される数的推理について学び、演習により定着させる。	1前	60	3	○	○		○		○		
○			作文Ⅰ	文章構成の基本を学んだ上で、公務員試験の過去の出題テーマをもとに添削指導を行う。	1前	30	1	○			○			○	

授業科目等の概要

公務員特別科 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			適性試験Ⅰ	公務員試験特有の事務適性試験の練習・演習を行う。	1前	98	4		○		○				
○			面接・公務員探求Ⅰ	人物試験対策および職種研究を通して、自己理解を深め職業観を養う。	1前	28	1	○			○		○		
○			特別講座Ⅰ	授業で学んだ基礎の確認のための問題演習を通して回答速度を上げる練習を行う。また、職種毎に出題される適性問題や時事・要約といった問題の演習を行い、得点力を磨く。	1前	56	8		○		○		○		
○			模試演習Ⅰ	全国公開模擬試験および過去問演習により、志望先合格に向けた実力確認を行う。	1前	64			○		○		○		
1年次 前期計						756	32								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
期末試験および小テスト等により5段階の絶対評価を行う。全科目必修。	1学年の学期区分	前
	1学期の授業期間	22週

授業科目等の概要

公務員特別科 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			課題研究	自ら課題を選び、現地調査・考察・研究を通じて一連の学びをレポートにまとめる。	1後				○		○				
○			未来への伝言	現代社会におけるさまざまな課題・テーマに関する資料をよみ社会への興味関心を高める。	1後	37.8	3		○		○				
○			ビジネス実務基礎	社会人として基本的なマナー、文書の書き方、WORD、EXCELなどの基礎を学ぶ。	1後				○		○				
○			模試演習II	本試験と同様の形式の模擬試験を実施	1後				○		○				
○			政治II	1年次に学習した政治に関する基礎知識を、公務員試験の過去問演習を通じて定着を図る。	1後				○		○				
○			経済II	最新の出題傾向に沿った時事・経済に関するテーマについて理解を深める。	1後				○		○				
○			地理II	前期に学んだ地理を復習し、問題演習を通じて知識の定着を図る。	1後				○		○			○	
○			日本史II	前期に学んだ日本史を復習し、問題演習を通じて知識の定着を図る。	1後	67.2	4		○		○			○	
○			世界史II	前期に学んだ世界史を復習し、問題演習を通じて知識の定着を図る。	1後				○		○			○	
○			理科	前期に学んだ文自然科学分野を復習し、問題演習を通じて知識の定着を図る。	1後				○		○			○	
○			文章理解 国語II	前期に学んだ文章理解国語を復習し、問題演習を通じて知識の定着を図る。	1後				○		○			○	
○			数的推理・ 判断推理	前期に学んだ判断推理を復習し、問題演習を通じて知識の定着を図る。	1後				○		○			○	
1年次 後期計						105	7								
1年次 通年合計						861	39								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
出席・小テスト・レポート等により単位取得の可否を決定する。全科目必修。	1学年の学期区分	後
	1学期の授業期間	12週

授業科目等の概要

公務員特別科 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			政治Ⅲ	公務員試験に出題される政治について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			経済Ⅲ	公務員試験に出題される経済について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			社会時事Ⅱ	公務員試験に出題される社会時事について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			政治演習Ⅱ	政治Ⅰの学習進度に合わせて定着を確認するための演習を実施する。	1前	15	1	○			○		○		
○			倫理公共Ⅱ	公務員試験に出題される倫理社会について学び、演習により定着を図る。	1前	15		○			○		○		
○			地理Ⅲ	公務員試験に出題される地理について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○			○	
○			日本史Ⅲ	公務員試験に出題される日本史について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			世界史Ⅲ	公務員試験に出題される世界史について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○		○		
○			数学Ⅱ	公務員試験に出題される数学について学び、演習により定着を図る。	1前	30	1	○			○			○	
○			資料解釈Ⅱ	公務員試験に出題される資料解釈について学び、演習により定着を図る。	1前	15	1	○			○			○	
○			物理・化学Ⅱ	公務員試験に出題される物理・化学について学び、演習により定着させる。	1前	15		○			○			○	
○			生物・地学Ⅱ	公務員試験に出題される生物・地学について学び、演習により定着させる。	1前	30	1	○			○			○	
○			文章理解 英語Ⅱ	公務員試験に出題される文章理解英語について学び、演習により定着させる。	1前	30	1	○			○			○	
○			文章理解 国語Ⅲ	公務員試験に出題される文章理解国語について学び、演習により定着させる。	1前	30	1	○			○		○		
○			判断推理Ⅱ	公務員試験に出題される判断推理について学び、演習により定着させる。	1前	60	3	○			○		○		
○			数的推理Ⅱ	公務員試験に出題される数的推理について学び、演習により定着させる。	1前	60	3	○			○		○		
○			作文Ⅱ	文章構成の基本を学んだ上で、公務員試験の過去の出題テーマをもとに添削指導を行う。	1前	30	1	○			○			○	

授業科目等の概要

公務員特別科 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			適性試験Ⅱ	公務員試験特有の事務適性試験の練習・演習を行う。	1前	98	4		○		○				
○			面接・公務員探求Ⅱ	人物試験対策および職種研究を通して、自己理解を深め職業観を養う。	1前	28	1	○			○		○		
○			特別講座Ⅱ	授業で学んだ基礎の確認のための問題演習を通して回答速度を上げる練習を行う。また、職種毎に出題される適性問題や時事・要約といった問題の演習を行い、得点力を磨く。	1前	56	8		○		○		○		
○			模試演習Ⅲ	全国公開模擬試験および過去問演習により、志望先合格に向けた実力確認を行う。	1前	64			○		○		○		
2年次 前期計						756	13								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
期末試験および小テスト等により5段階の絶対評価を行う。全科目必修。	1学年の学期区分	前
	1学期の授業期間	22週

授業科目等の概要

公務員特別科 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			会計学	財務諸表の基礎を学び、企業の経済活動に対する理解を深める。	2後	16	1	○			○	○			
○			財政学	租税の仕組みや税制理論を学び、日本の財政問題を理解する。	2後			○			○	○			
○			国際政治学	国際社会の形成から冷戦、国際連合、民族紛争、主な国際関係論について理解する。	2後	16	1	○			○	○			
○			国際経済学	国際経済の学説や戦後のIMF、GATT体制の確立から崩壊、地域経済統合を理解する。	2後			○			○	○			
○			憲法	日本国憲法の基本原理、基礎概念、基礎理論を習得する。	2後	16	1	○			○	○			
○			行政学	官僚制、行政機構、予算制度、行政改革、地方自治、行政学の歴史と理論を習得する。	2後	16	1	○			○	○			
○			政治学	社会契約説、イデオロギー、憲法、政党、世論、投票行動、各国の政治制度を学ぶ。	2後			○			○	○			
○			公務員倫理・情報処理	各種公務員として活躍している方たちの映像教材を視聴し、職業観を深める。	2後	16	1		○		○	○			
○			コミュニケーション英語	公務において外国語でのコミュニケーションは不可欠となっているので、簡単な日常のシチュエーションを想定して英語で会話することに慣れる。	2後	16	1		○		○			○	
○			公務員コモンセンス	社会常識、地域経済、法律の基礎等について学び、公務員としての基盤を整えていく。また、公務員の職場訪問や職員による説明、さらに地域貢献を通して、公務員として働くことの意義や心構えを学んでいく。	2 前後	30	2				○	○	○	○	○
○			卒業研究	自ら課題を選び、現地調査・考察・研究を通じて一連の学びをレポートにまとめる。	2後								○	○	
2年次 後期計						126	40								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
出席・小テスト・レポート等により単位取得の可否を決定する。全科目必修。	1学年の学期区分	後
	1学期の授業期間	12週

授業時間数	
1年次	861時間
2年次	882時間
総合計	1743時間